

第22回東海ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会概要

- 日 程 : 平成30年3月17日 (土) ~3月18日 (日)
- 場 所 : 鈴鹿青少年センター (三重県)
- 参加対象者 : 東海ブロック(静岡県・岐阜県・愛知県・三重県)の
リーダー会に所属するリーダー、各県指導者
- 経 費 : 参加料3,500円 (リーダー1人当たり)
- 運営スタッフの体制・運営方法 : 三重県リーダー会で企画・開催準備を行った

参加者

参加県	静岡県	岐阜県	愛知県	三重県
リーダー	8名	11名	13名	11名
指導者	2名	1名	1名	2名

大会テーマ

Tokai Introduce Enjoyment ～挑・新・生～

ニュースポーツに
挑戦

ディスカッションで
新しい意識を持つ

グループワークで
ニュースポーツを
生み出す

- テーマ設定理由

スポーツ・レクリエーションとは違う良さのある
ニュースポーツを「～挑・新・生～」の柱を通じて、
東海ブロックの新しい引出しにする事を目指した

日程

3月17日（土）	
時間	内容
12:00	受付開始
13:00	開会式・オリエンテーション
13:30	ニュースポーツ体験～挑～
15:00	ディスカッション～新～
17:00	夕食
18:00	グループワーク～生～
21:00	入浴
22:00	就寝

3月18日（日）	
時間	内容
6:00	起床
6:30	朝の集い
7:00	朝食
8:00	清掃・荷物移動
9:00	グループワーク（実践）
12:00	昼食
13:00	振り返り
13:30	閉会式
14:00	解散

ニュースポーツ体験～挑（挑戦）～

・ニュースポーツ「ネオホッケー」に挑戦

ネオホッケー・・・アイスホッケーを体育館でできるようにしたもの
ニュースポーツであり、接触行為などは厳しく禁止



①ネオホッケーについて
リーダー自身で説明を行う



②禁止された接触行為を
見本を交え説明



③実際に体験することを通じて、
ニュースポーツの楽しさを実感

ディスカッション～新（新たな意識）～

- テーマ 「ニュースポーツをこれまで以上に活動に取り入れていくにはどうしたら良いのか」
- ディスカッションを行う上での工夫



①ポストイットに意見を書く



②ポストイットを貼り付け意見をまとめる

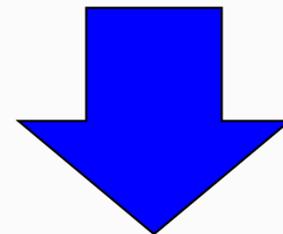


③SPYノートの活用
※話し合いが詰まったとき
他の班の調査をできるアイテム

ディスカッション～新（新たな意識）～

出てきた現状の問題点

- ・ 認知度不足
あまりやったことがない・・・
- ・ 機会不足
ACPやレクリエーションがほとんど
- ・ 知識不足
ニュースポーツやったことはあるけど説明は・・・
- ・ 道具がそろわない
キンボールのように変わった道具が・・・



出てきた解決策

- ・ 単位団に持ち帰って実践する
- ・ リーダー間で情報共有をする
- ・ 自分たちでニュースポーツを作る
- ・ 道具は自分たちで作る

グループワーク～生（生み出す）～

- 指導案作成として「ニュースポーツ」を作ることにした

条件

時間・・・40分間

年齢・・・小学生～中学生を対象

場所・・・バスケットコート2個分ほどの体育館

用具・・・「段ボール」や「新聞紙」など身近に手に入る用具のみ



グループワーク実践

「追いかけてっこ玉入れ」 → 玉入れ × 追いかけてっこ

ルール



VS



床に置かれた新聞紙を丸め
相手のかごに玉を入れる

かごを背負い玉を
入れられないよう逃げる

注意点



新聞紙は、安全のため
コートの外に置いた

昨年の全国リーダー連絡会で協議した事

- 昨年の全国リーダー連絡会にて、2020年までの東海ブロックのリーダーアクションを決定

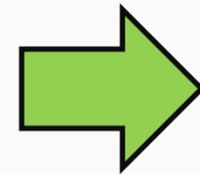
『オリンピック・パラリンピックについて知る

～地元選手に注目！～』

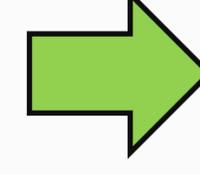
知る



見る



体験する



伝える

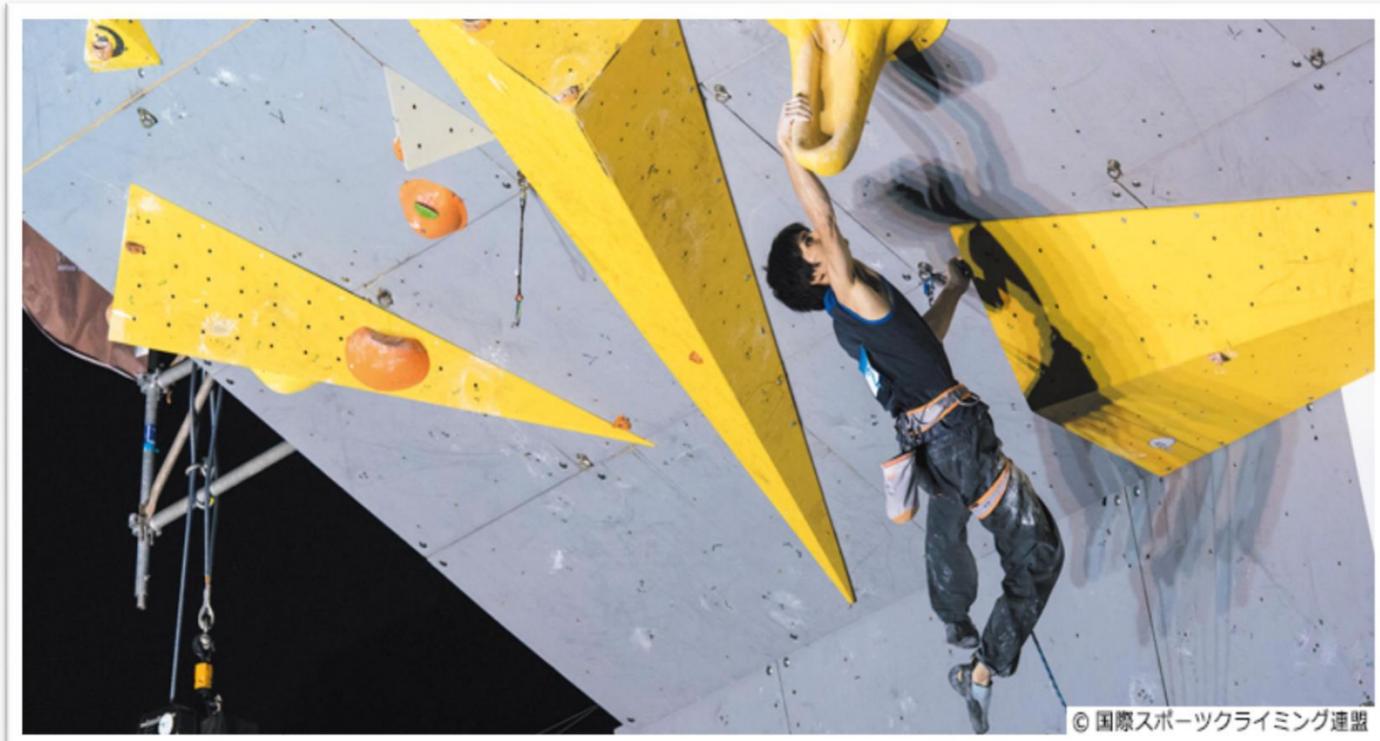
 今回

オリパラについて知る・見る・体験する・伝えるというリーダーアクション実施し多くの人に今までよりも多くの人にスポーツに興味を持ってもらうことを目標とする

昨年の全国リーダー連絡会で協議した事

昨年度のリーダー連絡会で話し合ったリーダーアクション「知る」を実施

- **東海で活躍している選手を「知る」**
→事前に各県で世界レベルで活躍している選手を調べて頂き紹介を行った
- **ニュースポーツを・競技を「知る」**
→ニュースポーツからオリンピック競技になった「スポーツクライミング」の紹介



振り返り

～今回の大会のアンケート～

- “道具がない”“リーダーの知識不足”という問題について
自分たちで考えることができた
- 集まってからすぐニュースポーツをしたが、
ニュースポーツを通してすぐに仲良くなれたように感じた
- 実際に体験することでニュースポーツの
面白さ・緊迫感、チームで楽しむということを実感できた
- 使える道具を見つけて活用できるようになってほしい
また、**最小限必要な情報を的確に伝えることが重要である**

～この大会を通じて～

- ニュースポーツは・・・
 - **勝っても負けても楽しめる**
 - **体格、性別、運動の得意・不得意関係なく楽しめる**
 - **レクリエーションとスポーツの良いとこ取り**

まとめ・・・

**今後にもニュースポーツを実践し、意見交換することで
様々な場面でリーダー活動の引き出しにすることができ、
スポーツ少年団活動にも取り入れることができると感じた。**